

研究協力をお願い

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

糖尿病患者における GLP-1 受容体作動薬の β 細胞機能に与える影響に関する後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年4月～2017年12月の期間に糖尿病治療のために GLP-1 受容体作動薬（ビクトーザ®）を自己注射していた方または DPP-4 阻害薬（ジャヌビア®、グラクティブ®、エクア®、ネシーナ®、テネリア®、トラゼンタ®のどれか）を内服していた方

2. 研究目的・方法

糖尿病の原因のひとつとして進行性の膵 β 細胞機能低下があります。GLP-1 受容体作動薬は基礎研究からは膵保護効果の存在が示唆されていますが、臨床でのデータはいまだに少ないのが現状です。そこで、本研究では GLP-1 受容体作動薬の使用によりグルカゴン負荷試験（内因性インスリン分泌能の検査）の結果が改善したか否かを、対照として DPP-4 阻害薬を使用していた方を選択し比較検討をおこないます。

研究期間

2018年1月1日～2018年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から情報として年齢、性別、身長、体重、血圧、病名、罹病歴、現病歴、併用薬、また臨床検査項目としてグルカゴン負荷前 C ペプチド、負荷後 C ペプチド、HbA1c、AST、ALT、 γ GTP、TG、HDL-C、LDL-C を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座糖尿病代謝内分泌内科部門

氏名：山本 剛史（研究責任者）

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8947